

獣医師通信

本格的に暑くなってきました。熱中症になりやすい時期です。お散歩は涼しい時間に行くようにしましょう。また、水分補給・室温管理に気を付けましょう。様子がおかしい場合は早めに病院に連れてきてください。

看護師通信

暑い季節のお散歩や外出は熱中症になる可能性があるため注意しましょう。暑さが落ち着いている時間帯に出かける、首に濡らしたタオルや犬用の保冷剤を入れるバンダナなどを巻いておくと熱中症の予防になります。

トリマー通信

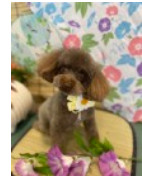
7,8月オプションセットはハーブパックになります。細かなハーブパウダーがシャンプーでは落としきれない毛穴の奥の皮脂汚れも浮かせて落とし、気になる臭いを抑え、綺麗なお肌をキープします。換毛期で浮いた毛をゴツソリ取り除き、お肌の通気性を良くして蒸れを防ぎます。ニームの効果で害虫予防、カシアの効果で被毛をフワフワ、サラサラ、ツヤツヤに、枝毛や切れ毛をケアします。



工藤レオンくん



斎藤ハッチくん



斎藤ベルちゃん

獣医師コラム

ネプトラ

ネプトラは犬用外耳炎治療薬として承認され、1回の投薬で、臨床効果が28日後に最大化するといったお薬になります。この度、こういった長期間作用型の外耳炎治療薬が発売されましたのでご紹介させていただきます。

○外耳炎とは？

- ・約5頭に1頭のワンちゃんがかかる病気です。
- ・アトピー性皮膚炎、アレルギー、寄生虫、異物、入浴や水泳などで入った水、耳道が狭いなど元々の耳道の構造などが原因で起こります。
- ・症状としては耳から嫌な匂いがする、赤く腫れている、頭をよく振る、耳を掻く、耳垢や黄色い液体が耳から出るなどが挙げられます。
- ・原因によってですが、一般的に再発しやすい病気です。

○外耳炎の診断と治療

- ・多くの場合、耳の穴を観察することで診断できます。感染を疑う場合には、顕微鏡検査や専門機関での培養検査を行うこともあります。
- ・一般的な治療は、耳の洗浄と外耳炎治療薬の点耳です。

○ネプトラ

抗菌作用：フロルフェニコール

犬の感染性外耳炎の起炎菌として約70%で検出されるブドウ球菌属に感受性があり第一選択薬で使用できる

抗真菌作用：テルビナフィン塩酸塩

人用医薬品としても使用されており、その安全性と真菌に対する高い感受性が認められる

抗炎症作用：モメタゾンフランカルボン酸エステル

強い局所抗炎症活性に比較して局所性および全身性の副作用が少ない

これまでの犬の外耳炎治療薬はいずれも複数回の投薬が必要でしたが、ネプトラは動物病院での1回の投薬のみで、臨床効果が28日後に最大化する革新的な製品です。1回使い切りのため衛生的、液状のため耳道全体に薬液がいきわたる、初回診察時に投薬が完了するため投薬コンプライアンスに関する心配が不要、自宅での点耳や耳洗浄が不要のため、ペットオーナーや犬へのストレスも軽減することができます。

投薬前に耳道を洗浄し、できるだけを取り除く事でネプトラの効果を最大化することができます。また自宅では他の点耳薬をしないこと、耳洗浄、入浴、水泳など耳道に水が入る行為はなるべく避けることでネプトラの効果を最大限得ることができますと考えます。

ご不明な点がございましたらスタッフまでお問い合わせください。

獣医師 中田智裕